

【 生徒集会（運動会の表彰） 】

②

暑い中での運動会でしたが、生徒会の発案で運動会の式典の時間をできるだけ短くして、後日に表彰するという事で、熱中症や疲労対策にも配慮できました。そして、昨日の放課後に生徒集会が行われましたが、各種目の表彰を落ち着いた式の中で行えることもすばらしいアイデアであることを感じました。



【 自分の身体は自分で守る 】

秋の交通安全運動が9月21日（土）～30日（月）に実施されます。昨年の今頃は地域・保護者の方々から生徒たちの自転車の良くない乗り方について連絡をいただきました。今年も登下校の様子を見ていると同じ状況があるようです。

①『二台・三台と横になって話をしながらの運転、数台で道幅いっぱいに広がる並進』※特に下校時
②『交差点・横断歩道での一時停止』 ③『ヘルメットのあごひもをきちんと締めず、ゆるんだまま』

まずは、この三点を課題として、生活安全委員会の活動を中心に、『自分の身体を自分で守る』取り組みを徹底させていきたいと思っております。

また、保護者の皆さまにも街頭指導にご協力いただくよう文書をお届けすると思っておりますが、職員の立ち番については、この時期は下校指導に重点を置いて取り組みます。日が暮れるのが早くなり、それに伴って下校時刻も徐々に早めていくところですが、事故に遭うことがないように要所で生徒を見守りながら指導していきたいと考えています。

ご家庭でも今一度、登下校の安全についてのご指導をお願いします。

- ①横断歩道（自転車横断帯のない）や踏切では一旦停止、自転車を降りて引いて渡る。
- ②自転車も早めにライトを点灯させる。
- ③ブレーキやタイヤの空気圧の確認をしておく。
- ④並進はしない。一列で走行する。
- ⑤ヘルメットのひもをしっかりと締め、安全タスキもきちんと着用する。
- ⑥荷台の荷物をきちんと固定する。ずれて落ちてしまったり、タイヤに巻き込まれないように気をつける。

車を運転していても、薄暗くなった時が最も視界が悪くなります。早めに自転車のライトを付けて自分の存在を車の運転手に知らせるとともに、横断歩道での一時停止、安全確認は特に重要です。自転車は歩行者に対して車両の扱いになり、歩行者とぶつかって相手がケガをすると相当な賠償責任が生じます。「暗くて気がつかなかった」「中学生だから・・・」ではすまされません。

昨年も本校の生徒と高校生らしき人との自転車同士の接触事故がありました。これからこそ十二分に気をつけましょう。

【 見せましょう 「湯梨浜中学校の底力」！ 】

明後日の9月14日（土）三朝中学校を会場に、東伯郡中学校PTA連合会の研修大会・スポーツ大会が開催されます。研修会は「〇〇への伝言」と題し、体験型研修会として即興書家・筆文字デザイナーのTADAさんの「あなたの想いを形にします」という講演です。しかし、何とスポーツ大会（ドッジビー）の参加者が大変少なく、体育厚生部員さんも困っております。湯梨浜中学校のデビュー戦であり、「若いと思う（自分で）職員」も参加します。昨年は「東郷が単独で優勝しており、これに北浜の精鋭の方々が加わって負けるはずがない！」とPTA会長さん方も思っております。PTAの仲間づくりや交流、意思疎通を図る上での大切な場を有意義に活用しましょう。（右の写真は昨年写真です）

